

DOW CORNING TORAY SE 930 シーラント

特徴と長所

- 低モジュラス・高伸度のため、 ジョイントの動きに対する追従 性が優れています。
- 接着面に対する応力集中が小さ く、優れた接着安定性を持って います。
- 耐候性、耐久性に優れ、幅広い 温度範囲で安定した特性を示し ます。
- 圧縮・伸度の繰り返しにも優れています。
- 四季を通じて温度に左右されに くく、混合しやすいなど施工性 に優れています。
- 従来の2成分形シリコーンシー リング(アミノキシ型)に比べ て、低温での硬化性に優れてい ます。
- アルコール型、無溶剤型、ノンサグタイプのシーリング材です。
- 部材に合わせて色(カラーマスター)を選ぶことができます。
- SE 930 シーラントは、JIS A 5758 耐久性による区分、9030 に相当します。

組成

- シリコーンシーラント
- 2成分形
- アルコール型

建築用シリコーンシーリング材(2成分形アルコール型)

用途

DOW CORNING TORAY SE 930 シーラントは、2 成分形アミノキシ型に比較し、低温硬化性が優れているので、大型ユニットパネルの工場施工に最適です。

また、アルコール型なので複層ガラス廻りの目地に適しています。 なお、カーテンウォールのガラス、サッシ廻りの動きのある大きな目地に も広く使用できます。接着発現性が早く、特に工場施工に最適です。

代表特性

出荷規格ではありません。本製品に対し仕様・規格を設定する場合は事前に弊社までご連絡ください。

試験方法	試験項目	単位	測定値
	外観		ペースト状
	スナップタイム	hour	8
JIS K 6249	密度	g/cm ³	1.35
JIS K 6249	硬さ		17
JIS K 6249	引張強さ	MPa	1.9
JIS K 6249	伸び	%	712

スナップタイム測定条件: 23 ±2℃/50% RH 密度、引張強さ、伸びに関しては、23 ±2℃/50% RH×3 日後

混合比(重量比) 基材: 硬化剤: カラーマスター = 100: 2.6: 5.5~11 * 10° C 以下の使用においては、硬化速度を上げるために硬化促進剤の使用を推奨します。

使用方法

混合は基剤・硬化剤・カラーマスターのセット毎に、全量を1度に混合してください。

- 1. 施工手順は JASS 8 に準拠してご使用ください。 なお、 さらに硬化を速めたい 場合は硬化促進剤がありますのでご相談ください。
- 2 DOW CORNING TORAY SE 930 シーラントの場合、機械混合をしてください。真空脱泡ドラム回転式混合機を必ずご使用ください。 DOW CORNING TORAY SE 930 シーラントは、基剤・硬化剤に別梱包のカラーマスターを必ず加えてご使用ください。
- 3. プライマー

確実な接着を実現するためにプライマーを必ずご使用ください。 詳しくはプライマーのカタログをご覧ください。 また、プライマーの選定でご不明な点は当社までお問い合わせください。

色の種類

グレー、ライトグレー、 ダークグレー、ダークブラウン、 アンバー、ブラック、 アイボリー、ステンカラー

使用上の注意

- 1. 被着材が清浄かつ乾燥した状態で シーリング材を施工してください。
- 2 打設してから1日以内に雨掛かり すると表面荒れ、硬化不良の原因 となりますので、雨水のかからな いように養生してください。
- 3. 打設後しばらくの間は、シーリング材内部は半硬化状態となりますから、目地には大きな動きを与えないでください(表面のシワや内部クラック等の欠陥が生じます)。
- 4. 石目地、パネル目地等の外壁目地 に使用の場合、目地周辺に汚染を 生じることがあります。美観を重 視される場合は事前に弊社へご相 談ください。
- 5. EPDM、シリコーン系のゴム及び他素材のシーリング材(特に変成シリコーン)と接触する場合、接触部分で硬化阻害を起こします。必ず、このような取り合いについては、硬化阻害防止プライマーPR-9300をご使用ください。なお、この硬化阻害防止プライマーPR-9300については、弊社にご相談ください。また、その他のゴムを使用される場合にも、接触により変質することがあります。事前に確認されることをお勧めします。
- 6. シーリング材の厚みが Imm 以下 の場合には、薄層未硬化現象を起こす場合があります。仕上げ時にシーリング材が薄層になる場合にはご注意願います。

また、DOW CORNING TORAY SE 930 シーラント同士の打ち継ぎについても、打ち継ぎ時間をずらして施工する場合には打ち継ぎ部に薄層未硬化が発生します。このような未硬化を防ぐため、打ち継ぎ部には硬化阻害防止プライマーPR-9300を使用してください。

- 7. バックアップ材に使用されている 糊面と接触すると硬化阻害を起こ します。できるだけ接触を避けて ご使用ください。
- 8. 被着材の表面温度が50℃以上の場合には使用しないでください。
- 9. 接着性について、事前に実際の被 着部材を用いてご確認をお願いい たします。
- 10. 適切な設計施工のもとにお使いく ださい。詳しくはシーリング材ハ ンドブックもしくはJASS8に準拠 してご使用ください。
- 11. 直接火の当たる部分には使用しないでください。
- 12. シーリング材が皮膚に触れた場合には、速やかに取り除いてください。また、喚起の不十分な場所では目鼻を刺激したり、吸い込みによる障害の起こる恐れがあります。十分に喚起された場所でご使用ください。
- 13. 目に入った場合は直ぐに流水で (15分以上)洗い流し、医師の診断 を受けてください。

使用に際し必要な安全情報は本データシートには記載されていません。ご使用の前に、製品安全データシート(SDS)及び、パッケージ又はパッケージのラベルに表示されている注意書きをよく読んで、使用上の安全をはかって下さい。製品安全データシート(SDS)はウェブサイト、dowcorning.co.jpにアクセスしてお求めいただけます。さらに、代理店または担当営業にご依頼いただいても結構です。

保証期間

冷暗所32℃以下にて未開封の状態で 製造後180日。

包装単位

3.7L(基剤、硬化剤)

医療・医薬品用途への制限

本製品は、(ヘルスケア用途製品 を除き、)一般工業用途向けに開 発・製造されたものです。弊社製 品は、医療または 医薬用途向けに 適合するものとして、試験されておりません。また、そのように表明されるものでもありません。

健康および環境に関する情 報

弊社は、お客様の製品安全の必要性をサポートするために、広範囲におよぶプロダクト・スチュワードシップの組織やチームおよび各地域にて対応可能な製品安全並びに法令遵守のスペシャリストを有しております。

さらなる詳細な情報については、 弊社のウェブサイト dowcorning.co.jp、または弊社の担 当営業までご連絡下さい。

限定保証について―よくお 読みください

ここに掲載する情報(以下「本情 報」という)は、弊社が誠意をもつ て提供するものであり、正確であ ると確信するものです。但し、弊 社製品についての使用条件や使用 方法は、弊社のコントロールの及 ばぬところでございますので、本 情報を弊社製品が、お客様の意図 する最終用途において、安全で、 有効で、十分に満足するものであ ることを保証するためのお客様に おける試験の代わりとしては、使 用しないで下さい。ここでご紹介 する使用方法、用途などは、いか なる特許をも侵害していないこと を保証するものではありません。

弊社は、弊社製品が出荷の時点で 有効な販売規格に適合しているこ とのみを保証致します。この保証 に違反した場合、お客様の唯一の 救済方法 は、当該製品の購入代金 の返金または当該製品の交換のみ により対応いたします。 適用法により許容される最大限の 範囲において、弊社は、製品の特 定目的への適合性または商品適格 性について、明示または黙示の保 証をするものではありません。ま た、弊社は、いかなる付随的また は派生的な損害について何ら責任 を負いません。

ご注意

ここに掲載する情報およびデータは弊 社が信頼できると確信する資料にもと づいて作成しましたが、ご使用に際し ては貴社のご使用条件にて事前に十分 な試験を行なっていただき、貴社のご 満足できる性能、効果の有無を必ずご 確認ください。ここでご紹介する使用 方法、用途などは、いかなる特許をも 侵害しないことを保証するものではあ りません。

弊社製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療および 医薬用途向けには試験されておりません。医療用途には使用しないで下さい。

安全面での配慮を必要とする用途への ご使用に際しては、貴社にて事前に当 該用途での安全性をご試験、ご確認の うえ、使用の可否をご判断ください。 また、体内に埋植、注入する用途、ま たは体内に一部が残留する恐れがある 用途には、絶対に使用しないでくださ い。

弊社の都合により本資料の内容を変更することがあります。また、新製品、用途の開発によりカタログの改版を行なう場合がありますので随時ご請求ください。

東レ・ダウコーニング株式会社 **フリーダイアル** +0120-77-6278

We help you invent the future.™

dowcorning.co.jp

■ 目地設計

目地設計はJASS 8 (日本建築学会建築工事標準仕様書防水工事) に準拠してご使用下さい。

● DOW CORNING TORAY SE 930 シーラント設計許容伸縮率・せん断変形率

引張圧縮 M₁ (長期) *1: 20%

M₂ (短期) *2: 30%

せん断 M₁ (長期) *1: 30%

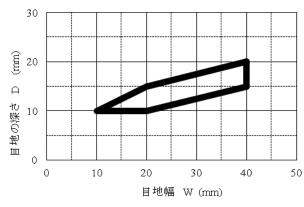
M₂ (短期) *2: 60%

*1: M₁は温度によるムーブメントを考慮する場合

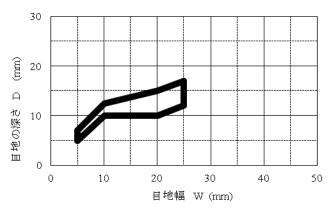
*2: M2は地震・震度によるムーブメントを考慮する場合

■ シーリング材の目地深さ許容範囲

下図の範囲内での設計をお勧めします。



一般目地の目地深さ許容範囲

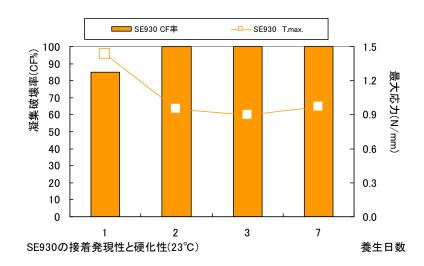


ガラス目地の目地深さ許容範囲

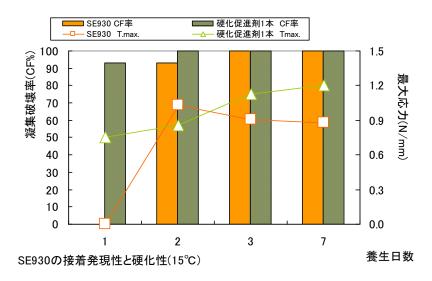
■ 養生温度と硬化速度、接着発現性の関係

(使用被着体:フロートガラス 使用プライマー:プライマーD-3) 10°C以下の使用においては、硬化速度を上げるために硬化促進剤の使用を推奨します。 硬化促進剤を使用したときの硬化性、接着発現性は以降の表を参照ください。

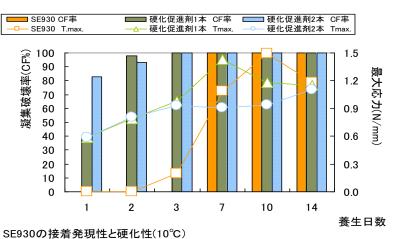
● 測定条件: 23 ±2℃/50%RH スナップタイム: 8 時間



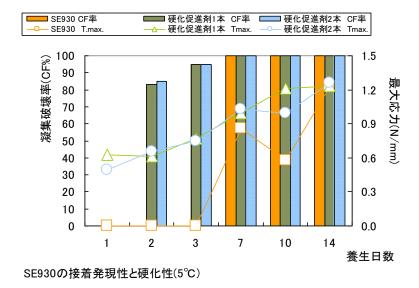
● 測定条件:15 ±2°C/湿度管理なし スナップタイム: 8 時間以上 硬化促進剤 1 本使用: 3.5 時間



● 測定条件: 10 ±2°C/湿度管理なし スナップタイム: 8 時間以上 硬化促進剤 1 本使用: 7.0 時間 2 本使用: 4.0 時間



● 測定条件: 5 ±2°C/湿度管理なし スナップタイム: 8 時間以上 硬化促進剤 1 本使用: 7.5 時間 2 本使用: 5.5 時間

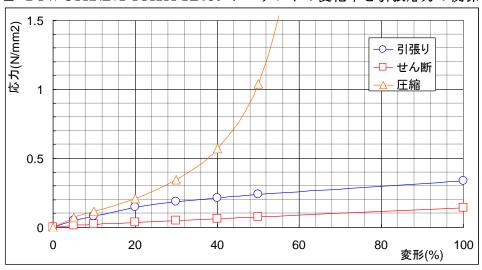


■ DOW CORNING TORAY SE 930 シーラントの引張接着特性

		OIMIT DE 700 V	7 + 1 -> 31	W 12 12 17	
項目	条件	50% 引張応力	最大引張応力	最大引張応力時の 伸び率	シーリング材の 凝集破壊率
被着体		N/mm ²	N/mm ²	%	%
ガラス	養生後	0.23	1.15	544	100
	加熱後	0.19	1.07	548	100
	水浸漬後	0.21	0.85	494	100
	促進暴露後 *1	0.23	0.86	376	100
アルミ	養生後	0.23	1.02	503	100
	加熱後	0.19	1.06	556	100
	水浸漬後	0.20	0.77	492	100

^{*1} 促進暴露 5000 時間後 [試験体] JIS A 1439 引張接着性試験体 [使用プライマー] プライマー D-3 [引張り速度] 50mm/分

■ DOW CORNING TORAY SE 930 シーラントの変化率と引張応力の関係



■ プライマー

被着体	プライマー
ガラス・金属・金属塗装面	プライマーD3(RF)
コンクリート*1	プライマーB
EPDM・シリコーン系ゴム・他素材のシーリング材との打ち継ぎ*2	PR-9300
DOW CORNING TORAY SE 930 同士の打ち継ぎ*2	PR-9300

プライマーが十分乾燥してから、シーリング材を打設してください。

- *1 長時間水濡れ状態が続くような用途の場合には、エポキシ樹脂等による コーティング処理と プライマーD3(RF) 塗布をおすすめします。
- *2 EPDM、シリコーン系のゴム及び他素材のシーリング材(特に変成シリコーン)と接触する場合、接触部分で硬化阻害を起こします。このような取り合いについては、必ず硬化阻害防止プライマーPR-9300 をご使用ください。

■ DOW CORNING TORAY PR-9300 について

乾燥時間: 30分以上(23℃)

標準塗布量: 16g/m² 荷姿: 250g 缶